

中央会月刊誌
中小企業
かごしま

2015
第715号

1

今月の特集

官公需適格組合制度の概要と事例紹介



鹿児島県中小企業団体中央会

業務災害補償制度のごあんない

業務災害への備えは お済みですか？

例えば、こんな心配にお応えします

事故防止は徹底しているが、万一の重大事故が心配だ

万全の注意を払っていても、死亡・後遺障害の発生確率はゼロではありません
ちょっとしたケガが多くなってきた

従業員向けの福利厚生制度の充実が、安心して働ける環境を作ります
パート・アルバイトの保障も考えなければ…

！
あります

全国中小企業団体中央会の

業務災害補償制度 (*1) であれば、
万一の業務災害から企業経営を守ります。
さらに、個別で加入するより

最大約59%割安 (*2) です。

(*1) 業務災害補償制度は、傷害総合保険・労働災害保険（使用者賠償責任条項）で構成されています。

(*2) 団体割引30%の他、過去の損害率による割引、役員員一括契約割引などを適用した傷害総合保険部分の1名あたりの保険料です。引受保険会社によって割引率は変わります。

本制度は、全国中小企業団体中央会が契約主となり、損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険が引受保険会社となって募集します。

※損害保険ジャパンと日本興亜損害保険は平成26年9月1日に合併し、損害保険ジャパン日本興亜となりました。

詳細については、鹿児島県中小企業団体中央会
(099-222-9258)まで ご連絡下さい。



CONTENTS

年頭所感	2
鹿児島県中小企業団体中央会会長 小正 芳史	
鹿児島県知事 伊藤祐一郎	
鹿児島市長 森 博幸	
日本銀行鹿児島支店長 中田 勝紀	
商工中金鹿児島支店長 山口 治	
全国中小企業団体中央会会長 鶴田 欣也	
特集 官公需適格組合制度の概要と事例紹介	8
中央会の動き	10
● 中央会年始会を開催	
● 認定経営革新等支援機関（認定支援機関）として認定！	
● 着地型観光サービスの具体的手法を学ぶ研修会を開催 ～南九州市の地域活性化に向けて～	
● 組合青年部を活性化させるための講習会を開催 ～鹿児島県中小企業団体中央会青年部会～	
● 国家経済と建設業について学ぶ研修会を開催 ～鹿児島県建設業協同組合連合会青年部会～	
● ボランティア事業を実施 ～鹿児島県中小企業団体中央会青年部会～	
● 会員懇談会を開催 ～鹿児島県中小企業団体中央会女性部会～	
トピックス	14
● 第25回 薩摩焼フェスタを開催～鹿児島県薩摩焼協同組合～	
年賀広告	16
教えてぐりぶー！組合運営	15
● 第10回「加入年数によって賦課金等に差を設けることの可否」について	
業界情報	26
平成26年11月 情報連絡員報告	
倒産概況	28
平成26年12月 鹿児島県内企業倒産概況	
中央会関連主要行事予定	30



幸せを、かさねていける場所
A place where your happiness can grow.



景観一望、桜島。

標高108mから望む活火山「桜島」、錦江湾、そして鹿児島市街地。
絶好のロケーションと最上のくつろぎ・・・。

朝食



人気の朝食バイキング

鹿児島ならではの味わいが魅力。毎朝80種類の和・洋食バイキング料理がお楽しみ頂けます。

温泉



展望露天温泉 さつま乃湯

眼下に広がる桜島と鹿児島市街地。地下1,000mから湧き出る「美人の湯」で、お肌もしっとりすべすべ。

料理



鹿児島の旬の食材を存分に

和洋中全てのレストランが揃い、特製地ビールやさつま揚げなど、鹿児島の旅をご堪能頂けます。

客室



贅沢な時間を演出します

お部屋から眺める錦江湾と雄大な桜島。ゆとりの広さと洗練されたインテリアは、気品と安らぎの空間を演出。

HOTEL SHIROYAMA
城山観光ホテル
KAGOSHIMA

〒890-8586
鹿児島市新照院町 41 番 1 号
TEL.099-224-2211(代)
FAX.099-224-2222(代)
www.shiroyama-g.co.jp



年頭のご挨拶

鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正芳史



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、平成27年の新春を健やかに迎えのここと、心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は、中央会事業推進に際し、多大なご支援、ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月の衆議院議員選挙においては、与党が圧倒的多数で議席を獲得し、年末にかけて、「税制改正大綱」や「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」が決定されました。

法人実効税率を引き下げることによって経済の好循環を実現し、成長力強化を目指していく姿勢や外形標準課税を中小企業に適用拡大しないといった決定は大いに歓迎するところです。

今後とも中小企業の目線に立った実効性のある施策の実現を期待しております。

また、緊急経済対策については、地域の実情に配慮しつつ消費を喚起するなど、地方の活性化に配慮されていることが特徴であります。

当会が地域事務局を担当しております「ものづくり補助金」や「創業補助金」についても、緊急経済対策に盛り込んでいただきました。

「ものづくり補助金」は、この2年間で総額2,400億円のうち20億円を当会が支援させていただき、本県の中小企業の設備投資を後押しいたしました。

また、「創業補助金」につきましては、150件近い創業案件の支援により、500人を超える新たな雇用創出に貢献したところです。

地域活性化を切れ目なく実施していくため

にも、今年度補正予算の早期成立を願うところであります。

ところで、今年は「未年」でございます。

羊は群をつくり、行動することで外的から身を守っていますが、その行動形態は、組合の精神そのものと感じております。

厳しい環境だからこそ、組織の力によって明日を切り拓いていくことが、それぞれの中小企業を守り、成長を促進する上で重要な取り組みと言えます。

また、「未年」は、無限の可能性を秘めているとも言われます。

会員組合の皆様におかれましては、理事長をはじめとした強力なリーダーシップのもとで、共同事業を通じて活路を切り拓いておられることと存じますが、中央会といたしましても、皆様方の組織がより大きく、そしてより強く成長していきますよう支援体制の強化に努めてまいりますので、ぜひご期待ください。

ところで、中央会は本年創立60周年を迎えます。

国の礎である中小企業を支援してまいりました60年の歴史に恥じることはないよう、また新たな時代を中央会の活動で切り拓いていけるよう精一杯取り組んでまいりますので、さらなるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様方にとりまして希望にあふれた明るい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



魅力あふれる鹿児島を 国内外に発信！

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
鹿児島県中小企業団体中央会の皆様には、中小企業の連携支援や事業協同組合等の育成・強化に努められ、本県中小企業の振興と地域経済の発展に多大な御貢献をいただいております。深く敬意を表しますとともに、県政の推進につきまして、格別の御支援・御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年6月に、「小規模企業振興基本法」が成立しました。さらに、この基本法に基づき、小規模企業の振興に関する総合的かつ計画的な推進を図るため、「小規模企業振興基本計画」が閣議決定されました。

鹿児島県中小企業団体中央会におかれましては、中小・小規模企業の多様で活力ある成長を実現するため、指導団体として力を発揮していただくとともに、本県中小企業団体の一層の発展のために御尽力くださるよう期待しております。

県としましても、国の計画や施策に呼応するとともに、平成24年度に制定された「中小企業の振興に関するかごしま県民条例」に掲げた基本方針等を踏まえ、中小企業関係団体と連携しながら、中小・小規模企業の振興に積極的に取り組んでいくこととしております。

さて、今年は、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録の実現が期待されます。

奄美群島の世界自然遺産登録へ向けた取組も着実に進めており、これら各世界遺産の登録が実現すれば、既に世界自然遺産に登録さ

れている「屋久島」と合わせて、3つの世界遺産を有する県となります。

また、秋には、国内最大の文化の祭典「国民文化祭」を鹿児島で開催いたします。

今後とも、本県の豊かな自然や個性ある歴史・文化などの素材に磨きをかけつつ、3年後に迎える明治維新150周年を見据えた様々な取組を進め、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を国内外に情報発信してまいります。

私としましては、時代の状況変化に的確に対応しながら、「かごしま将来ビジョン」やマニフェストに基づき、「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し、引き続き、「力みなぎる・かごしま」、「日本一の暮らし先進県」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、鹿児島県中小企業団体中央会並びに県内組合のますますの御発展と、皆様にとりまして、新しい年が実り多き一年となりますよう心から祈念いたします。





～将来を見据えて～
「豊かさ、実感都市・かごしま」の実現

鹿児島市長 森 博 幸



平成27年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会の皆様方におかれましては、中小企業連携組織支援の専門機関として、県内組合等の事業活性化など、中小企業の振興と各組合の健全な発展のために、積極的かつ幅広い活動を展開され、大きな成果をあげておられますことに深く敬意を表します。

また、日頃から市政の各面にわたり温かいご理解とご協力を賜り、市政が順調に進展しておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、我が国は今、震災からの復興の加速化や経済再生、外交など多くの難しい課題に直面しております。

また、昨今、人口減少問題が大きく取り上げられており、このままでは日本の人口が50年後には3分の2まで減少し、地域経済社会の維持に重大な影響を与えることも指摘されています。このことを踏まえ、国においては、地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服するため、地方創生に向けた取組を本格化しております。

幕末の混沌とした頃のちょうど150年前、日本の将来を案じた薩摩藩は、19名の若き藩士などをイギリスに送り出し、後に彼ら留学生は様々な分野で活躍し、日本の近代化に大きく貢献しました。

本市もまさに人口減少への転換期を迎えようとしている今、将来を見据え、本市の特性を最大限に生かした取組を積極的に展開することにより、地域の活力を高めてまいりたい

と決意を新たにしているところです。

そのため、明治日本の産業革命遺産の世界文化遺産登録、桜島・錦江湾の世界ジオパーク認定、国民文化祭への対応、フルマラソンの開催に向けた取組などを進め、鹿児島ならではの地域資源をさらに磨き上げ、国内外に情報発信し、交流のさらなる拡大を図ってまいります。

また、新産業の創出支援や企業立地の推進などを通じて就業機会の拡大に努めるとともに、中心市街地の活性化や商工業の更なる振興に取り組み、地域経済の活性化につなげてまいります。

持続ある地域経済の活性化を図るためには、地域経済の重要な担い手であり、地域とともに歩む中小企業の発展が不可欠であり、これからも皆様とのパートナーシップを大切に「市民が主役の鹿児島市」を基本理念に、ともに考え、ともに行動しながら、市政をもっと前に進め、本市の取組が明るい未来への布石となるよう全力を傾け、真に“豊かさ”を実感できるまちを実現してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、地域経済の牽引役として、さらにご尽力いただきますとともに、本年も市政の推進に、より一層のご理解とお力添えを賜りますようお願いいたします。

鹿児島県中小企業団体中央会のますますのご発展と、新しい年が皆様方にとって、夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



年頭のご挨拶

日本銀行 鹿児島支店
支店長 中田 勝紀



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年のご挨拶では、「2014年は、日本経済、鹿児島経済双方にとって節目の一年になると見込まれます」と書かせていただきました。消費税引き上げに伴う反動減の影響が避けられない中、2013年から萌芽が見え始めた景気の好循環を定着させることができるかがポイントでした。結論から申し上げます、まだ道半ばです。日本全体で見れば、反動減が予想以上に長引いたものの、雇用環境の改善や大企業を中心とした企業所得の増加で、前向きな動きは維持されています。一方で、円安の進展などの影響もあり、マクロ的な景気の改善が、ミクロ的にみてバランス良く日本経済全体に行き渡っていない面があるのも事実です。2015年は、政策面では、地方創生や成長戦略が早急に具体化されることが強く期待されますが、いずれにしても未来を見据え、地方を含めた日本経済全体の底上げに向けて官民ともに貪欲に前進し続ける必要のある1年となります。節目は続きます。

鹿児島にとっては、やはり観光面でのさらなる飛躍が期待される1年となるでしょう。2014年は、夏場の天候不順や連続して襲来した台風の影響などがありましたが、宿泊客数は好調だった2013年に比べて10月時点までの累計で前年比▲1.8%のマイナスに止まり、健闘しました。また、海外からの宿泊客はアジアを中心に+21.6%と大きく伸び、全宿泊客に占める割合も5%に迫るなど、全体として観光は堅調さを維持しています。観光庁の統計で見ると、鹿児島県の一人当たりの観光消費額単価（平成24、25年の平均）は、県外からの国内宿泊客は約44,500円、海外からの宿泊客は約108,000円と、

いずれも北海道についてトップクラスの水準で全国平均（それぞれ約28,400円、約64,900円）を大きく上回っており、当地経済に大いに貢献していることが分かります。

今年は、磯地区を含む九州・山口の近代化産業遺産群の世界文化遺産登録が見込まれるほか、薩摩藩英国留学生渡航150周年記念の年であり、さらに秋には国民文化祭も開催されます。昨年10月にアップされた鹿児島県の観光PR動画は、鹿児島の魅力的な風景や文化を素晴らしい映像で紹介しており、2カ月で70万回以上再生され、海外からも注目されています。鹿児島の観光がもう一段ステップアップし、外部環境の変化にも耐え得る、当地経済を支える太い柱となる絶好の機会です。

もちろん、それを実現するためには、潜在的な顧客に対する適切な情報発信、外国語等のインフラ整備、厚みのある人材育成など、課題は多く残されています。例えば、国内では、鹿児島のイメージはまだ「桜島、西郷さん、黒豚」に止まっています。また、東南アジアの国々における鹿児島の認知度は、九州地区で見ると福岡や長崎の2～5割程度で、大きく見劣りしています（政策投資銀行調べ）。ビザ発給の緩和が東南アジア諸国を中心に進められていることを考えればもったいない状況です。国内他地域との競合もさらに激しくなっている中、オール鹿児島での熱い取り組みがこれまで以上に求められています。

最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい一年となることを心よりお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

株式会社 商工組合中央金庫
鹿児島支店長 山口 治



平成27年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のが国経済を振り返りますと、消費税率の引き上げを挟んで、駆け込み需要とその反動減が発生し、景気の振幅が大きくなりました。中小企業の景況感を当金庫の「中小企業月次景況観測」で見ますと、景況判断指数は駆け込み需要のあった3月にはバブル崩壊後の最高値を更新しました。4月以降はその反動減により大きく低下した後、持ち直しに転じましたが、好転・悪化の境目となる50手前で足踏みが生じました。

具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、政府の経済対策としての公共投資が成長を下支えしましたが、輸出の伸び悩みや個人消費の持ち直しに遅れが生じ、また一部の業種における消費税率引き上げの反動減の長期化、円安・原材料高に伴う仕入価格の上昇、人手不足による供給制約などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

このような環境のもと、商工中金は、①東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さま、②原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さま、に対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、環境・エネルギー等の分野を中心に成長マネーを供給してまいりました。

再生支援については、能動的かつ抜本的な再生支援を行う他、業況が改善しているお取引先に対して、金融取引の正常化とその後の成長支援に取り組んでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地域の各機関と連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会
会長 鶴田欣也



明けましておめでとうございます。平成27年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年当初は、輸出の持ち直しや消費税引上げ前の駆け込み需要が強まり、大手を中心に企業業績は堅調に推移するなど景気回復が続いたものの、4月の消費増税後は、GDPが2四半期連続してマイナスとなるなど景気低迷が鮮明となりました。加えて、10円近く円安が進み、原材料や燃料の高騰、人手不足による人件費の値上がり等によるコストの増加によって、中小企業にとって企業収益の改善が進まず、景気回復の実感が得られない厳しい年となりました。

こうした中、昨年10月に東京・日比谷公会堂で開催されました第66回中小企業団体全国大会と代表者の集いには、安倍晋三内閣総理大臣ほか多数の閣僚にご出席頂き、地域や中小企業に景気回復の実感が届くための大会決議を要望することができました。

また、経済の好循環実現に向けた政労使会議では、安倍総理に対して、生産性向上を図る省力化投資の増進や下請代金の引上げ等取引環境を整備して頂くよう要望して参りました。

明けて平成27年は、全国津々浦々の中小企業が景気回復を実感できる経済の好循環を確実に実現していくことを強く期待しています。中小企業自らが持ち前の機動力を発揮して地域の特徴を生かした経営力強化を図るとともに連携・共同化による生産性向上や製品・サービスの高付加価値化、組合機能を活かし

た職業訓練の実施による地域への人材供給などを更に活発化していくことを強く期待しているところです。

また、昨年成立した小規模企業振興基本法に基づく「小規模企業振興基本計画」に定められた組合等の役割（地域ぐるみで総力を挙げた支援体制を整備するため、「地域の小規模企業が他の事業者との連携・組織化を進める上で、組合が果たす役割は大きく、中小企業団体中央会・商店街振興組合連合会は、小規模企業の課題に応じた多様な組合活動を支援していくことが求められる。」）の具体化を図り、実行していかなければなりません。組合と組合員企業の皆様が、地域経済の活性化に資する事業活動は自分自身の問題であるとの共通の認識を持ち、能動的に行動していく必要があります。

今年は、大部分の中小企業団体中央会が創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた中央会という知的財産に、女性と若者等の創意工夫による新たな成果を着実に積み上げていきたいと考えています。組合等連携組織が主体となって地域内再投資が繰り返され、組合関係者の手で地域活性化が実現できるよう団体のトップの方々に更なるリーダーシップの発揮をお願いいたします。

本年が皆様にとって、明るく、ワクワクするほど楽しい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成27年元旦



官公需適格組合制度の概要と事例紹介

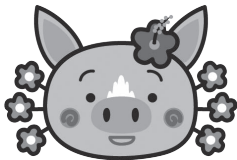
公共調達（工事・物品・役務）でしごとを創る！

官公需契約とは、官公庁や独立行政法人などが民間事業者と取引をすることです。

官公需契約には、物品等の調達契約、庁舎の清掃や警備、印刷などを委託する役務契約、道路建設や河川の補修などの工事契約があり、さまざまな分野の中小企業者が受注することが可能です。

国は、中小企業者の積極的な取り組みを支援するため、「国等の契約の方針」において、官公需適格組合をはじめとする協同組合等の受注機会増大を図ることとしています。

そこで、本特集では、官公需適格組合制度の概要と、鹿児島県内で「官公需適格組合」として国の証明を受けている協同組合を紹介します。



官公需適格組合制度の概要とメリットについて教えてください。

【官公需とは】

国や公団、地方公共団体等が、物品を購入したり、サービスの提供を受けたり、工事を発注したりすることを「官公需」といいます。

【官公需適格組合制度とは】

国は、中小企業者の官公需の受注機会を増大するために、①官公需受注に関して熱心な指導者がいること ②十分な経理的基礎があることなど共同受注体制の整っている事業協同組合などに対して、「官公需適格組合」としての証明書を発行しています。

なお、証明は物品・役務関係と工事関係の2つに分けられています。

物品の購入には制服、家具、事務用品など、役務の給付には清掃作業、建物管理、建築設計監理、運送、害虫駆除など、工事の発注には上下水道工事、土木工事、建築工事などがあります。

【官公需適格組合として証明を受けるメリット】

組合のイメージアップに繋がるだけでなく、官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約については十分に責任も持って履行できる体制が整備されているとみなされ、対外的信用度が高まります。

また、競争契約参加資格審査の際に、生産・販売高、資本金などについて、組合の数値に組合員の数値を合算して、上位の等級に格付けされる特例があります。

次のページで鹿児島県内で「官公需適格組合」として証明を受けている協同組合を紹介するので参考にしてほしいぶ～



◇官公需適格組合証明制度の詳細及び申請等については、本会までお気軽にお問い合わせください。本会では、官公需に関する情報提供のほか、官公需適格組合の証明取得のための受注体制づくり、証明申請、組合運営等についての相談、指導を行っています。 【お問い合わせ】 組織振興課



鹿児島県内で「官公需適格組合」として証明を受けている協同組合

《鹿児島県建築設計監理事業協同組合》

- 理事長：今村 裕
- 組合員数：51 人
- 出資金：10,200,000 円
- 主な業種：建築設計監理業
- 所在地：鹿児島市上荒田町 29-33
- 連絡先：TEL 099-298-1835
FAX 099-298-1836

【共同事業の概要等】

地域に密着した建築設計集団として、県・市町村・団体等の公共団体の設計監理業務を中心に受注している。また、昨今は耐震診断・補強設計業務や高層マンション改修計画等の事業を推進している。

《鹿児島県石油販売業協同組合》

- 理事長：坪久田 正明
- 組合員数：494 人
- 出資金：142,964,500 円
- 主な業種：石油販売業
- 所在地：鹿児島市鴨池新町 5-19
- 連絡先：TEL 099-257-2822
FAX 099-253-1578

【共同事業の概要等】

検察庁、労働局、鹿児島県・県警、鹿児島市等より石油製品を受注しており、高い品質の石油製品を安定的に供給できるよう努力している。また、安心安全な事業活動を行える体制づくりに努めている。

《鹿児島県測量設計コンサルタント協同組合》

- 理事長：塚脇 伸
- 組合員数：50 人
- 出資金：14,100,000 円
- 主な業種：測量業
- 所在地：鹿児島市真砂町 48-1
- 連絡先：TEL 099-253-9354
FAX 099-258-6633

【共同事業の概要等】

資材の共同購買、金融事業等を実施している。発注機関に対してパンフレットや組合員名簿等を活用して、組合及び組合員の PR に努めている。業界に精通した知識と経験を有する事務局長のもと、営業活動の強化等により積極的に受注獲得を目指している。

《垂水桜島地区生コンクリート協同組合》

- 理事長：野添 正文
- 組合員数：4 人
- 出資金：2,000,000 円
- 主な業種：生コンクリート製造業
- 所在地：鹿児島県垂水市田神 2724-1
- 連絡先：TEL 0994-32-1579
FAX 0994-32-2292

【共同事業の概要等】

組合員工場は、確かな品質を保証するマル適マークを取得しており、国・県・垂水市等の発注者に対し品質の高い生コンクリートを安定供給することに努めている。また、地域貢献として、こども 110 番に取り組んでいる。

《鹿児島共同配車センター事業協同組合》

- 理事長：里村 定夫
- 組合員数：86 人
- 出資金：9,240,000 円
- 主な業種：貨物自動車運送業
- 所在地：鹿児島市谷山港 3-1-5
- 連絡先：TEL 099-261-3341
FAX 099-262-1316

【共同事業の概要等】

官公庁の移転に伴う備品・書類等の運搬業務を共同受注している。積極的に情報収集を行い、受注確保に努めている。また、官公需以外の一般貨物については、WebKIT（求荷求車情報ネットワーク）を有効活用し、効率的・効果的な共同受注を行っている。

《協同組合鹿児島県地理情報センター》

- 理事長：岩満 周三郎
- 組合員数：6 人
- 出資金：600,000 円
- 主な業種：測量業、情報サービス業
- 所在地：鹿児島県曾於市末吉町二之方 3112-4
- 連絡先：TEL 0986-28-8255
FAX 0986-28-8760

【共同事業の概要等】

GIS（地理情報システム）を活用した共同計算・共同受注に積極的に取り組んでいる。測量設計及びシステム開発等の業務を実施しており、県建設技術センター等から受注している。共同事業を円滑に推進するために、組合員に対する GIS 研修の実施や組合に専門技術者を置くなど組合基盤の整備に努めている。

※組合データは平成 26 年 3 月末時点のものです



中央会年始会を開催



1月6日、鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」で、中央会会員と来賓並びに関係者による恒例の中央会年始会を開催した。最初に「国歌」及び「中小企業団体の歌」を斉唱し、「中央会理念」を柳正保副会長の掛け声のもと出席者全員で唱和した。続いて、小正芳史会長が年頭の挨拶を行った。

小正会長は、「昨年末には、『税制改正大綱』や『地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策』が決定された。法人実効税率を引き下げることで経済の好循環を実現し、成長力強化を目指していく姿勢や外形標準課税を中小企業に適用拡大しないといった決定は大いに歓迎する。緊急経済対策については、本会が地域事務局を担当している『ものづくり補助金』や『創業補助金』についても、盛り込んでいただいた。ものづくり補助金では、この2年間で総額2,400億円のうち20億円を支援し、本県の中小企業の設備投資を後押しした。創業補助金では、150件近い創業案件を支援し、500人を超える新たな雇用創出に貢献した。



年頭の挨拶を述べる
小正会長

本会は、今年創立60周年を迎える。国の礎である中小企業を支援してきた60年の歴史に恥じる事のないうよう、また新たな時代を切り拓いていけるよう精一杯取り組んでいきたい。」と述べた。

この後、伊藤祐一郎鹿児島県知事、池畑憲一鹿児島県議会議長、森博幸鹿児島市長（松木園富雄副市長による代読）、岩崎芳太郎鹿児島県商工会議所連合会会長が来賓祝辞を述べた後、中田勝紀日本銀行鹿児島支店長の乾杯発声により開宴となった。地元選出の国会議員が祝辞を述べた後、山口治商工中金鹿児島支店長による万歳三唱が行われ、盛会のうちに終了した。



伊藤鹿児島県知事



池畑鹿児島県議会議長



松木園鹿児島市副市長



岩崎鹿児島県商工
会議所連合会会長



中田日銀支店長



山口商工中金支店長



認定経営革新等支援機関（認定支援機関）として認定！

平成26年12月19日付けで、本会は認定経営革新等支援機関（以下、認定支援機関）に認定されました。
そこで、認定支援機関の役割や中小企業者が経営相談を行った場合のメリットについて紹介します。

認定支援機関とは？

認定支援機関は、中小企業・小規模事業者が安心して経営相談等が受けられるために、専門知識や、実務経験が一定レベル以上の者に対し、国が認定する公的な支援機関です。



中小企業団体中央会
商工会議所、商工会 等



中小企業診断士、弁護士
税理士、会計士 等




地域金融機関 等

経営相談するとこんなメリットが！

認定支援機関に相談することで、現状を正しく理解し、課題に対して的確な対処ができるようになるなど、経営の現状に沿った解決策を見出すことができます。

また、専門性を持った認定支援機関が、中小企業・小規模事業者が抱えるさまざまな課題や悩みに対して質の高い支援を行います。

さらに認定機関に相談することで、以下のようなメリットを享受できます。

Point 

- ①保証料の減額や補助金申請などにより、資金調達がしやすくなる
- ②事業計画を策定することで現状を把握し、対応策を明確化できる
- ③海外展開に伴う資金調達がしやすくなる

《ミラサボのHPより引用》

「自社の財務内容や経営状況の分析を行いたい」「事業計画を策定したい」「取引先を増やしたい」「販売を拡大したい」など、中小企業・小規模事業者が抱える悩みは多岐にわたります。

経営改善から補助金活用まで、経営においてお困りのことがありましたら、本会までお気軽にご相談ください。





着地型観光サービスの具体的手法を学ぶ研究会を開催 ～南九州市の地域活性化に向けて～

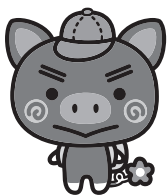
12月15日、南九州市の「知覧文化会館」で、地域の中小企業者（木材、川辺仏壇、食品製造業等）を対象に第2回異業種間連携研究会を開催した。

最初に、「着地型観光サービスの集約化に向けての具体的手法」と題し、マダム・ポー研究所代表の渡辺千佳子氏が基調講話を行った。

渡辺氏は、リピーターを生み出す観光商品プランづくりとして、「その土地でしか食べられない、必ずまた食べたくなる各食事処共通メニューを作るなど、皆の印象に残るもの考えることが重要である。」と述べ、成功例として、指宿の「温たまらん丼」を挙げた。「指宿の花といえば“菜の花”で黄と緑がイメージカラーである。そこで、天然砂蒸し温泉の源泉で作った温泉たまご(黄)と地産の食材であるオクラ(緑)を使用した丼物を開発し、今では指宿の名物として名が知れるようになった。また、食材の持つ成分を知り尽くした上での商品開発も重要で、商品の作り方の基本は引き算である。余分なものを取り除き、的を絞り、着地点を決めてスタートすることがポイントである。」と話した。

さらに、着地型観光サービスの集約化に向けての具体的手法として、「消費者ニーズの多様化・変化、人口減少による市場規模の縮小等に対し、地域住民が“地域を何とかしないとイケない”という強い危機意識を持つとともに、自分達は何ができるのかを真剣に考えることが重要である。」と述べ、「①地域の推進体制の構築 ②役割分担の明確化 ③地域の観光資源の分析 ④効果的な商品化・マーケティング活動を意識し、見るだけ・まわるだけの観光地ではなく、まちの歴史や自然、生の生活文化を体験する、食べる、触れ合い交流する、学ぶ、観るといった多様なメニューでもてなすことが大切である。」と締めくくった。

引き続き行われた意見交換会では、渡辺氏を座長に、南九州市を訪れる年間約80万人の観光客を活かし、地域活性化に繋げるための方策等について、出席者の間で活発な議論が交わされた。



本会では、**事業再構築**や**組合間連携**、**経営強化**等をテーマにした研修会など、様々な**組合活性化**支援事業を行っています。

「このような研修会をしたい！講師を呼びたい！しかし予算が…。」とお悩みの方は、当会までお気軽にご相談ください。



大口酒造株式会社

鹿児島県伊佐市大口原田643 TEL 0995-22-1213(代)

これが
鹿児島
の
芋焼酎。

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響するおそれがありますので、気をつけましょう。



組合青年部を活性化させるための講習会を開催 ～鹿児島県中小企業団体中央会青年部会～

12月11日、鹿児島市の「ホテルパレスイン鹿児島」で、本会青年部会（有川裕幸会長）が青年部講習会を開催した。

全国中小企業青年中央会直前会長である、株式会社アメックス代表取締役の上山泰寛氏を講師に迎え、「やる気&チーム力UP」をテーマに、組合青年部の活性化に向けた方法について学んだ。

上山氏は、「やる気をUPするためには、『自分は毎日、何のために働いているのか?』を自問自答するとともに、従業員には『会社のためではなく自分のために働く』との意識を持たせることが重要である。そのうえで、チーム力をUPするためには、思うような成果は上がらなくても、『人のために費やした時間は、いつかきっと自分に返ってくる』と考え、各人がプラス思考で活動することが、チーム全体としての底上げにつながる。」と述べた。

最後に、「青年部活動の活発化を目標に活動して、思うような成果は上がらなくても、常に『自分のこと』『自社のこと』と捉えて活動することでやる気とチーム力をUPさせ、持続させる力になる。」と締めくくった。



国家経済と建設業について学ぶ研究会を開催 ～鹿児島県建設業協同組合連合会青年部会～

12月12日、鹿児島市の「鹿児島県建設センター」で、鹿児島県建設業協同組合連合会青年部会（有川裕幸会長）を対象に青年部研究会を開催した。

株式会社経世論研究所代表取締役の三橋貴明氏を講師に迎え、「国家経済と建設業」をテーマに、建設業者の社会的役割について学んだ。

三橋氏は、「現在の日本は、物価の上昇に実質賃金が追いついていない状況であり、政府には実質賃金を引き上げるような政策が求められている。景気を回復させるためには、公共投資の拡大と減税が不可欠ではあるが、いざ公共投資を行う際に、健全な建設業者が各地区に存在しなければ、日本は立ち上がるチャンスを失うことになる。震災大国である日本の建設業者は『競争と存続』の中にあっても、お互いに助け合う必要がある。」と説いた。

そして、「生産性を向上させるには『公共・設備・人材』の3つの投資を増やすことが必要である。これらに直ちに取り組み、労働条件と待遇面の改善についての政策を実行し、健全な建設業者を育てることが、今の日本を救うことにつながる。」と述べ、研究会は終了した。

参加者は国家経済における建設業者の社会的役割を再確認し、それぞれの意識を高めた様子であった。





ボランティア事業を実施 ～鹿児島県中小企業団体中央会青年部会～

12月25日、薩摩川内市の「社会福祉法人大村報徳学園」で、本会青年部会がボランティア事業を実施した。

本事業は、特別支援学校や児童養護施設の子供達の日常生活や勉学等に役立ててもらうために、チャリティ募金や事業の収益金から、学用品や日常品等を贈呈しており、今回で21回目の実施となった。

当日は、有川会長の挨拶の後、デジカメ1台と電子レンジ1台の目録を贈呈した。贈呈後、平林園長と生徒代表からお礼が述べられた。

生徒代表は「デジカメで行事などの思い出をたくさん撮り、大人になった時に写真を見て振り返りたいと思います。電子レンジは、毎日の生活の中で使うことが多く助かります。これから大切に使用させていただきます。」と感謝の気持ちを伝えた。

青年部会は、今後も引き続き同事業を通し、県内の将来を担う子供達と交流を深めていく予定である。



有川会長と子供達

会員懇談会を開催 ～鹿児島県中小企業団体中央会女性部会～

12月4日、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」で、本会女性部会（田島直美会長）が会員懇談会を開催した。

鹿児島県観光交流局観光課国内誘致係 主査 村田綾乃氏を講師に迎え、「鹿児島県PRキャラクター ぐりぶー&さくらの誕生秘話」と題し、講演いただいた。

鹿児島県のPRキャラクターである「ぐりぶー」と「さくら」は、平成23年春に開催した全国都市緑化フェア「花かごしま2011」のマスコットキャラクターとして誕生した。当初は、このイベントのために作成したキャラクターであったが、大変評判が良かったため、平成24年12月より、鹿児島県のPRキャラクターとして再デビューを果たした。再デビューの後は、県の広報・啓発活動のパンフレット等のチラシや県内外の各種メディアに積極的に登場し、知名度向上に努めた。

その結果、平成25年度のぐりぶーの県内外イベント等への出勤回数は対前年比7倍に、デザイン使用は5.8倍に増加した。また、今年の3月に開催した「ぐりぶーとさくらの大結婚式」では県内外から約5,000人もの来場者が訪れ、テレビや新聞等に大々的に取り上げられるなど多くの県民から注目されるようになった。さらに10月には、個性豊かな7人の子供が誕生した。

今後とも、ぐりぶー一家でさらなる鹿児島のPRに努めていく予定である。



サプライズゲストとして
登場したぐりぶー



第25回 薩摩焼フェスタを開催 ～鹿児島県薩摩焼協同組合～

12月3日から12月7日までの5日間、鹿児島県薩摩焼協同組合（西郷隆文理事長）は、かごしま県民交流センターで「第25回薩摩焼フェスタ」を開催した。県内各地から37の窯元が出展し、約1万点におよぶ薩摩焼の展示・即売を行った。

当イベントでは、「第25回記念作品展」と「女性のためのパスタ皿展」が同時開催され、多くの来場者の目を引いていた。

さらに、薩摩焼伝統工芸士会の作品展や、上絵付けや手びねりの実演、ふるさとPRコーナー、子供陶芸作品展、三都市コラボ作品の展示、絵はがき展、チャリティーオークション、お楽しみ抽選会等盛りだくさんの企画が行われた。

来場者は、400年の歴史を有する薩摩焼の魅力を確認するとともにそれぞれお気に入りの作品を見つけ、満足した様子であった。

来年度は、鹿児島で開催される国民文化祭（10月31日～11月15日）に合わせ、「大薩摩焼展」と「薩摩焼フェスタ」を同時開催し、県内外に対して大々的に薩摩焼のPRを行う予定である。



開 会 式



作品の展示・販売



チャリティーオークション



よお～しっ！
さくらに気に入ってもらえるような
パスタ皿を作るぶ～

鹿児島県薩摩焼協同組合ホームページ

<http://www5.synapse.ne.jp/satsumayaki/index.html>

国民文化祭ホームページ

<http://kagoshima-kokubunsai.jp/>



これからも、地域とともに。

いつでも、どこでも、アクセス!
山形屋 検索



山形屋

〒892-8601 鹿児島市金生町3番1号
電話(099)227-6111
www.yamakataya.co.jp



近代化を誇る全国屈指の流通拠点



理事長 小正 芳史



副理事長 美坂 幸二



副理事長 三角 征四郎

鹿児島市内に駐車場300台(最大)を有する**多目的ホール**



オロシティーホール
(卸団地組合会館)



鹿児島総合卸商業団地協同組合

〒891-0123 鹿児島市卸本町6番地12
TEL 099-260-2111 FAX 099-260-2109
IP電話 050-3541-4639 (OCN)
URL <http://www.orocity.or.jp/>





新春のお慶びを申し上げます



鹿児島浄水事業協同組合

代表理事 岩田 泰一
組合員一同

〒891-0122 鹿児島市南栄三丁目15番地1
TEL 099-269-6016 FAX 099-269-6012

LPガス
人と地球にスマイルを

一般社団法人 鹿児島県LPガス協会

会長 秋元 耕一郎

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号

TEL **099-250-2535**
FAX **099-250-2534**

南九州産業団地協同組合

代表理事 下園 廣一
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目2番地8
TEL 099-261-0733
FAX 099-261-0739



国産材原木丸太・製材製品 なんでも揃う木材市場

鹿児島県木材銘木市場協同組合
理事長 柴立鉄彦

〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町3番地35号

TEL : 099-268-5131

FAX : 099-268-5210

Eメール : meiboku@po5.synapse.ne.jp

鹿児島県農業機械商業協同組合

理事長 田中俊實
組合員一同

〒899-6405 霧島市溝辺町崎森973-1

TEL 0995-58-4713

FAX 0995-40-2142

鹿児島県遊技業協同組合

理事長 市丸隆二郎
組合員一同

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町12番5号

TEL 099-223-7973

FAX 099-227-1553

西薩事業協同組合

理事長 濱田雄一郎
組合員一同

〒899-2101 鹿児島県いちき串木野市湊町4丁目1番地

TEL 0996-36-5771

FAX 0996-36-5772



新春のお慶びを申し上げます



鹿児島市中央卸売市場青果食品協同組合

理事長 南 省 治
組合員一同

〒891-0115 鹿児島市東開町11番地1
TEL 099-267-3822
FAX 099-267-4097

鹿児島自動車工業協同組合

代表理事 羽 仁 正次郎
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4番地5
TEL 099-262-0255
FAX 099-262-0244

協同組合鹿児島ウッディホームビルダー協会

理事長 下 津 春 美
組合員一同

〒891-0115 鹿児島市東開町13番地30
TEL 099-269-7113
FAX 099-268-0385



Kagoshima Doctor Cooperative Association

鹿児島県医師協同組合

鹿児島県勤務医師生活協同組合
有限会社 鹿児島医協

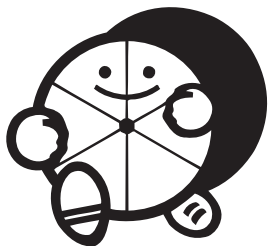
〒890-0053 鹿児島市中央町8-1
TEL 099-254-8126 FAX 099-257-1816
E-Mail ikyoo@kagoshima.med.or.jp
ホームページ：<http://www.kagoshima.med.or.jp/kyoudou/>



鹿児島県経済事業協同組合

理事長 小正 芳史
組合員一同

〒892-0821 鹿児島県名山町9番1号
TEL 099-223-8352
FAX 099-225-2904



あかぼう

引越と急送品 荷物のことなら 赤帽鹿児島県軽自動車運送協同組合

理事長 永徳 悦子・組合員一同

〒890-0034 鹿児島市田上1丁目8-2 TEL.099-257-0090 FAX.099-254-4110
HP <http://kagoshima.akabou.jp/> e-mail kagoshima@akabou.jp
赤帽鹿児島県本部 共同配車センター ☎0120-400-111

大隅地区生コンクリート協同組合

理事長 森 義久
組合員一同

〒893-0011 鹿児島県鹿屋市打馬2丁目9番29-1号
TEL 0994-44-7731
FAX 0994-40-3330



総合物流協同組合

代表理事 山根 英司
専務理事 久木留 寛
組合員一同

東日本地区本部 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-1-7-1001 TEL 03-3462-2060 FAX 03-3462-2061
西日本地区本部 〒890-0052 鹿児島市上之園町24番2号第12川北ビル TEL 099-285-1400 FAX 099-285-1402
URL <http://www.ksb-kumiai.com/> E-mail info@ksb-kumiai.com



新春のお慶びを申し上げます



謹賀新年

名瀬港港湾運送事業協同組合

理事長 里見 弘 壽
組合員一同

〒894-0035 鹿児島県奄美市名瀬塩浜町17番5号
電話・FAX : 0997-52-0088

鹿児島県運送事業協同組合連合会

代表理事 大迫 秀夫
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4番15号
TEL 099-262-0225
FAX 099-262-2365



協業
組合

薩南浄水管理センター

理事長 内木場 盛
組合員一同

〒891-0404 鹿児島県指宿市東方字本村西10473番地3
電話 指宿 (0993) 代②5110
FAX (0993) ②2846



エコアクション21
認証・登録番号0000572



鹿児島県印刷工業組合

組
合
員
一
同



副理事長
前田 幸一



理事長
岩重 昌勝



副理事長
益山 正義



副理事長
岡崎 洋人

〒892-0847 鹿児島市西千石町12-27 TEL099-222-1839 FAX099-223-1463 URL <http://www.kapia.jp>



たい かい 大 濠 酒 造 株 式 会 社

代表取締役 河野直正

〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町 21 番 1 号

TEL 0994-44-2190

FAX 0994-40-0950

本場大島紬織物協同組合

理事長 窪田 茂
組合員一同

〒891-0123 鹿児島市卸本町4番地7

TEL 099-204-7550

FAX 099-204-7551



鹿児島県蒲鉾協同組合

理事長 有村興一
組合員一同

〒892-0835 鹿児島市城南町37番地2

TEL / FAX 099-222-0297

鹿児島県石油販売業協同組合 鹿児島県石油商業組合

理事長 坪久田 正明

副理事長 永田 致唯・安達 洋彦・末次 孝
鶴田 修・恒森 孝雄・米丸 良行

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番19号

TEL 099-257-2822

鹿児島県パン工業協同組合

理事長 木 元 繁
副理事長 有村 真人
副理事長 山崎 昇平
専務理事 井上 正信
組合員一同

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町14-3

TEL 099-253-9211

FAX 099-253-9249



本場奄美大島紬協同組合

理事長 山田伸一郎 副理事長 前田 豊成
専務理事 牧 雅彦 常務理事 三島 照
外役員・組合員一同

奄美市名瀬港町15番1号

TEL 0997-52-3411・FAX 0997-53-8255

鹿児島県板金塗装工業協同組合

理事長 濱崎 博文
組合員一同

〒890-0034 鹿児島市田上8丁目13-6

TEL 099-281-4700

FAX 099-281-4709



新春のお慶びを申し上げます



鹿児島機械金属工業団地協同組合

理事長 丸 元 正 樹
副理事長 丸 山 聡
副理事長 山 下 健 次

〒890-0073 鹿児島市宇宿2丁目5番4号
TEL 099-254-3161 FAX 099-254-3163

奄美大島自動車整備工業協同組合

理事長 小 野 隆 三
組 合 員 一 同

〒894-0007 奄美市名瀬和光町12番地2
TEL 0997(52)1496(代)
FAX 0997(53)8520

鹿児島生コンクリート協同組合

鹿児島市上之園町24-2第12川北ビル601 TEL 099-255-2672

(鹿児島支部) 南国生コンクリート(株) 北薩生コンクリート(株)
土佐屋生コンクリート(株) (株)ガイアテック 加根又レミコン(株)
日研マテリアル(株) 鹿児島菱光コンクリート(株) 鹿児島味岡生コンクリート(株)
喜入生コン(株) 株センテイケイエスプラント事業部 薩摩コンクリート(株)
南州コンクリート工業(株) 平田コンクリート工業(株)
(中薩支部) (株) 中 馬 (株)直木生コンクリート工場
(株)サン・エイ 日新コンクリート工業(株) (株) 中 薩
南国ガイアレミコン(株)
(南薩支部) (株)穎娃コンクリート工業 (株)恋島コンクリート
薩摩コンクリート(株) (株)シ ー ト ッ ク 日新コンクリート工業(株)
南九州イワタ産業(株)

鹿児島県茶商業協同組合

理事長 池 田 耕 一
組 合 員 一 同

〒891-0122 鹿児島市南栄三丁目11番地28
TEL099-268-6181・FAX099-260-2332

鹿児島県コンクリート製品協同組合

理事長 松 崎 秀 雄
組 合 員 一 同

〒890-0062 鹿児島市与次郎2丁目7番25号
TEL 099-255-2511
FAX 099-259-2840

官公需適格組合

**鹿児島県測量設計
コンサルタント協同組合**

理事長 塚 脇 伸
組 合 員 一 同

〒890-0066 鹿児島市真砂町48番1号
TEL 099-253-9354
FAX 099-258-6633

官公需適格組合 〔事務所移転、住居等の引越、トラック輸送
を専門としています。お問い合わせは当組合へ〕

鹿児島共同配車センター事業協同組合

理事長 里 村 定 夫
組 合 員 一 同

〒891-0131 鹿児島市谷山港三丁目1-5
TEL 099-261-3341
FAX 099-262-1316
E-mail:kakyohai@helen.ocn.ne.jp

薩摩川内市管工事業協同組合


理事長 上 野 耕 作
組 合 員 一 同

〒895-0012 薩摩川内市平佐町3913番地1
TEL 0996-23-4806
FAX 0996-23-4850



新春のお慶びを申し上げます



 お引っ越しなら、ハトのマークへ

ひっこし専門 全国引越専門協同組合連合会加盟

鹿児島県引越専門協同組合

こちらハトのマークのひっこし専門です……
☎ダイヤルは下の、お近くのセンターへ……

本部センター	☎099(255) — 7 1 3 0	ひ く こ し 1 9 5 4
鹿児島中央センター	☎099(281)	
那覇中央センター	☎098(864)	
沖縄浦添センター	☎098(897)	
宮崎中央センター	☎0985(75)	

官公需適格組合 鹿児島県建築設計監理事業協同組合

理事長 今村 裕
組合員一同

〒890-0055 鹿児島市上荒田町29番33
TEL 099-298-1835
FAX 099-298-1836

本格焼酎事業協同組合

理事長 本坊 松 美
組合員一同

〒890-0055 鹿児島市上荒田町 29 番 18 号
TEL 099-285-0303
FAX 099-285-0202

協同組合寿協力会

理事長 諸 麦 和 清
組合員一同

〒896-0035 鹿児島県いちき串木野市新生町181番地
TEL 0996-24-1234
FAX 0996-32-4597

鹿児島県旅行業協同組合

理事長 中間 幹 夫
組合員一同

〒892-0816 鹿児島市山下町17-5
TEL 099-225-8901
FAX 099-225-8761

鹿児島市建設業協同組合

理事長 川 畑 俊 彦
組合員一同

〒890-8512 鹿児島市鴨池新町 6 番10号
TEL 099-256-5088
FAX 099-256-5692

鹿児島県砕石協同組合連合会

(一社) 日本砕石協会鹿児島県支部

会長 中 馬 浩
会員一同

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21-1町田ビル205号
TEL 099-255-2311
FAX 099-255-2317

鹿児島県砂利協同組合連合会

会長 島 田 静 雄
副会長 吉 永 光 行
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目21番
TEL 099-210-8133
FAX 099-210-8101



新春のお慶びを申し上げます



安心安全の
抗菌印刷技術

見る者が圧倒
3D印刷技術

触れて感じる
疑似エンボス印刷技術



一般社団法人 抗菌製品技術協議会
協業組合 **ユニカラー**

〒891-1231 鹿児島市小山田町7276-3
TEL(099)238-5525 FAX(099)238-5534

登録調査機関(一般用電気工作物調査業務)
鹿児島県電気工事業工業組合
(鹿児島県電気安全サービス)

理事長 寺田 実三
組合員一同

電気事業法に基づく登録調査機関として、九州電力の委託を受け、「一般ご家庭等の電気設備」の安全調査を行っています。

〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目3番11号
TEL 099-255-5507
FAX 099-255-5549


鹿児島県菓子工業組合

「鹿児島名産かるかん」
地域団体商標登録準備中

理事長 岩田 泰一
組合員一同

〒892-0841 鹿児島市照国町14番13号
TEL 099-222-2578
FAX 099-227-0485

クルマ買うなら
安心と信頼の **JU ショップ**



JU 鹿児島
鹿児島県中古自動車販売商工組合

理事長 北 蘭 幸二
組合員一同

〒899-5203 始良市加治木町小山田字五本松754
TEL.0995-62-0757 FAX.0995-62-2743

鹿児島県生コンクリート工業組合
鹿児島県生コンクリート協同組合連合会

理事長・会長 江夏 洋
組合員一同

〒890-0052 鹿児島市上之園町24番2
TEL 099-254-1560
FAX 099-258-4730

あけまして
おめでとうございます

奄美信用組合

理事長 安 忠雄

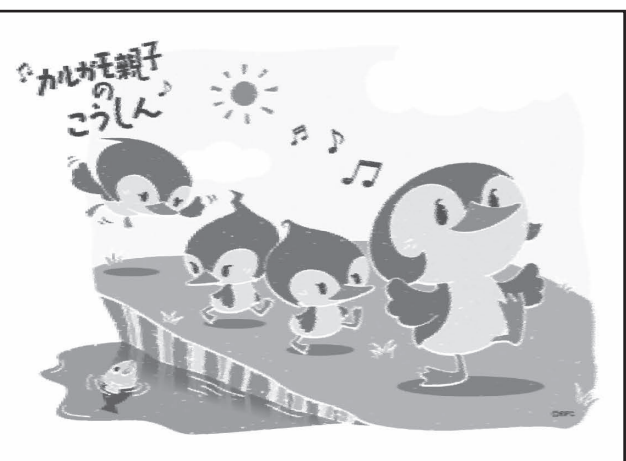


〒894-0025 奄美市名瀬幸町6番5号
TEL 0997-52-7111
FAX 0997-53-5211
<http://www.amamishinkumi.co.jp>



コミュニティバンク
こうしん
鹿児島興業信用組合

鹿児島市東千石町17番11号
TEL (099)224-3175
FAX (099)239-0365
ホームページ <http://www.ka-kousin.co.jp>





新春のお慶びを申し上げます



鹿児島信用金庫



理事長 後藤孝行
役職員一同

〒892-8586 鹿児島市名山町1番23号
TEL 099-223-0141
FAX 099-222-8296

国内旅行・海外旅行・団体旅行・新婚旅行など
お気軽にご相談ください。



(株) JTB九州 鹿児島支店
支店長 竹井 竜太郎

感動のそばに、いつも。

〒892-0843 鹿児島市千日町1-5 タカプラ新館内
☎ 099(226)1515 (代表)



代表取締役 松岡道雄
役職員一同

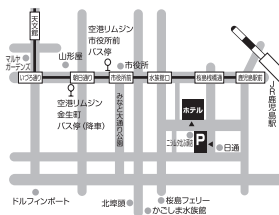
〒892-0845 鹿児島市樋之口町8番2号
TEL 099-223-1111 (代表)
FAX 099-227-2206



あけましておめでとうございます



ご宿泊、各種会議・宴会等のご予約などお気軽にお問い合わせくださいませ。



〒892-0817 鹿児島市小川町15-1 (ニシムタ北ふ頭店 目の前)
TEL : 099-239-4111 FAX : 099-239-4112
<http://u-hotel.co.jp>
駐車場完備●480台収容 (ご利用の方無料)



価値が分かるあなたへ・・・
ほんの少しだけの贅沢をしてみませんか。



ホテル・レクストン鹿児島

◎経理リムジン (天文館) から歩いて4分
鹿児島市山之口町4-20 TEL.099-222-0505
<http://nisikawa.net/lexton/>

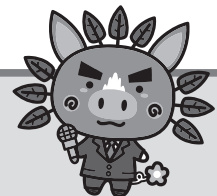


教えてぐりぶー！組合運営

第10回「加入年数によって賦課金等に差を設けることの可否」について



設立後数年間は配当できませんでしたが、最近では共同事業が活性化し、配当できるようになりました。こうした中、設立時からの組合員と、これから加入する組合員との間で、賦課金や使用料・手数料で差を設けることは可能でしょうか？



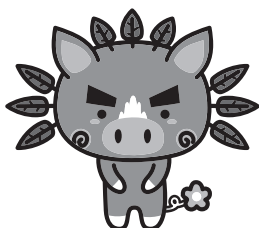
はい！お答えします！

賦課金について

一般的な経費の賦課方法として、平等に賦課する「平等割」や、組合員の生産高、販売高等による「差等割」、これらの方法を併用する方法等がありますが、経費は組合の事業活動に必要な費用（事務所費等）として充当される組合内部における一種の公課的なものであるため、新規加入者に対してのみ賦課することは中小企業等協同組合法第14条に規定する、現在の組合員が加入の際に付されたよりも困難な条件を付したことになるかと解されます。

使用料・手数料について

使用料や手数料は、経済事業の運営上必要な費用を賄うためのもの（検査のための手数料等）であるため、これも新規加入者に対してのみ徴収することはできません。



詳しいことは、中央会の担当指導員に相談してほしいぶ～



業界情報 (平成26年11月情報連絡員報告)

製造業

【味噌醤油製造業】

11月は比較的暖かい日が続いた。消費低迷の状態は一向に改善されず、加えて、日銀の追加経済政策の発表以降は円安が更に進み、原料高は止まるところを知らない。厳しい状況の中で師走を迎えることになる。

【酒類製造業】

(平成26年10月分データ)

(単位kℓ・%)

区分	H25.10	H26.10	前年同月比	
製成数量	28,713.4	26,176.7	91.2	
移出数量	県内課税	5,110.2	4,723.0	92.4
	県外課税	6,923.2	6,746.5	97.4
	県外未納税	3,713.2	3,475.4	93.6
在庫数量	214,508.5	229,970.3	107.2	

【漬物製造業】

生大根原料は、順調に新物入荷している。

【蒲鉾製造業】

11月上旬の売上はほぼ平年並みであったが、下旬には衆議院の解散報道等もあり、関東方面のデパート等からのお歳暮ギフトの注文が激減した。その結果、11月は対前年同月比でマイナス5%であった。また、北海道産スケソウすり身の水揚げ量が、昨年の70%程度に止まった影響により価格が高騰している。対前年同月比100円～120円/kgの値上げとなっている。このままでは、販売価格も値上げをしないと非常に苦しい状況になることが予想される。

【鯉節製造業】

原料の生値価格が先月よりも上昇し、昨年と同じくらいの価格に戻つつある。原料の安いときの在庫が少なくなり、収益的には若干好転しているが、業界の景況は厳しい状況が続いている。

【菓子製造業】

よく売れているように見える店舗でも、非常に厳しいという話を聞く。常に商品開発に取り組み、日々努力しているようである。

【本場大島紬織物製造業 (奄美地区)】

11月の生産反数は469反で昨年より69反のマイナスとなった。消費税8%実施後は売上も減少している。

【木材・木製品製造業】

相反する原木相場と製材製品相場に加えて、製品需要の低迷で薄商いが続いている。原木価格に見合う製品価格に転嫁したい製材所は「これ以上下げたらペイする原木はない」。一方、買い方メーカーは、価格動向に強い関心を持ち製品市況を見守っている実情にあり、「売りたいけど売れない。下げるに下げられない」との市場の硬直化を嘆くことしきりである。年末から年度末にかけて好転するか否か目が離せない。

【木材・木製品製造業】

建築業界を巡る情勢は、秋需を迎えて製品市況の活況が期待されていたが、回復の兆しは未だに弱い。原木も高めに推移しており、人手不足や燃料高、電気代の高騰等の影響により、採算性は中々好転していない。ただ、大型物件の受注により売上が伸びた事業所もある。この様に事業所によって差異が見られることから、それぞれの特性を出しつつ師走を乗り切る工夫が必要である。

【生コンクリート製造業】

11月の出荷量は152,545立米で対前年同月比80.4%であった。特に減少した地域は鹿児島・串木野・川薩・出水・垂水桜島・大隅・南隅・種子島・屋久島・喜界島、特に増加した地域は奄美南部・甌島・沖永良部であった。県全体で官公需・民需ともに大幅に減少している。特に官公需で川薩・垂水桜島・大隅、民需で鹿児島・大隅が大きく減少した。

【コンクリート製品製造業】

11月度の出荷トン数は、12,164トンで前年同月比80.5%となった。県内は全体的に出荷が減少しており、特に奄美地区においては、前年同月比55.5%となっている。公共工事全体では、前年度と比較してそれほど減少している訳ではないが、コンクリート二次製品を扱う工事が少ないように思われる。

【機械金属工業】

原材料・諸経費の高騰が続き、厳しさは増す一方である。

【印刷業】

衆議院選挙が行われることになり、ポスターやチラシ等、一時的な特需効果が見込まれている。しかし、あくまでも一過性のものであるので油断はできない。本来あるべき年末年始の繁忙期を期待したい。



非製造業

【卸売業】

消費税の引き上げ延期は歓迎する意見が多い。増税による購買低迷に加え、季節商品の動きが鈍く、景況は悪化している状況である。労働力不足から、省人化投資を計画する企業も見受けられる。

【燃料小売業】

海外からの原料仕入価格が引き続き下がっている。為替相場との関連もあるが、全体的に粗利の上がった状態である。今後の需要期を迎え、新興国の需要の変化による原料価格の変動に注目している。

【中古自動車販売業】

駆け込み需要の反動が大きく、思うように売上が回復せず非常に厳しい状況が続いている。ただ、消費税率10%の先送りは、業界にとっては良かったと思われる。今後の景気回復に期待したい。

【青果小売業】

11月は対前月比82.6%、対前年同月比80.5%であった。

【鮮魚小売業】

小売店舗数が減少した影響からか、魚の消費量も減少傾向である。この様な中、各地では「おさかな祭り」が行われている。鹿児島魚類市場では、11月9日に開催したところ1万2千人の買い物客が足を運び大盛況であった。当日は、マグロの解体ショー・さつま揚げの試食会・魚介類の特価販売を行った。イベントをきっかけに、多くの消費者に魚を見て・触れて・食べていただくことで、消費量の回復に取り組んでいる。

【農業機械小売業】

米離れと政府買入れ価格も落ち込み、なんとか消費に繋がる策はないかと模索している。先日は、6次産業化で成功した企業への研修に参加したところ、玄米から作ったパンは評判も良く収益にも繋がっているとのことであった。

【石油販売業】

原油価格は下落基調にあるものの、円安の進行によって打ち消されてしまった感がある。石油製品の需要は依然として回復しないため、競争は激化し消耗戦も一部の地域で見られる。消費者保護のためにも、適正な収益確保で事業の存続に努めなければならないときである。

【商店街（霧島市）】

商店街の11月の売上は平年並みであった。第1回国分まちゼミは、10月28日～11月24日までに全てのメニューが終了した。今回の取り組みは、商店街への誘客や個店のファン作りが大変有効であると考えている。11月に開催された「国分商店街観光&世間遺産まち歩き」と「霧島ふるさと祭」も大盛況であった。11月24日は鹿屋で「Show-1グルメグランプリ」の地方大会が行われたが、本大会は霧島市国分で行われることから、県内外へ霧島市国分商店街をPRする予定である。

【商店街（薩摩川内市）】

マスコミの騒ぎ過ぎで消費イメージが低下しているようである。

【商店街（鹿児島市/天文館地区）】

前年同月比とほぼ横ばい状態の店舗が多数である。気温が冷え込む日が少なく、冬物の売れ行きも今ひとつ伸びないうちに11月が終わった感じである。アーケード内のイルミネーション数も例年より増やして、商店街の賑やかさを演出しているが、人通りが思うように伸びていない。

【商店街（鹿児島市/中央駅周辺地区）】

物販店は不景気のままである。

【サービス業（旅館業/県内）】

11月の宿泊客は、2度の3連休、土日の各種イベントや会合開催等の要因もあり、週末を中心にやや好調であった。中旬以降、例年は忘年会等の宴会が多いシーズンであるが、飲食店との低価格競争が激しく、日程も予約が集中するのが週末のみで、以前より分散しないため苦戦している施設が多い。

【美容業】

来店客数は僅かながら増加に転じたが、売上は減少している。客単価の低下が経営に大きく影響している。各事業所は、年末商戦に向けてキャンペーンやDMなどで多様なサービス・メニューを展開している。

【旅行業】

秋の旅行シーズンのピークを迎え、それぞれの事業所で増減があるものの、売上は全体的に前年から微減であった。相変わらず、連休利用のファミリー層は関西方面(USJ)の申込みが多い。また、職場旅行等の1泊バスツアーの取り扱いも、長崎・熊本方面が多い状況である。

【建築設計業】

当組合が受託している建築工事監理業務については、材料不足による調達遅れや型枠・鉄筋・左官・タイル等の職人不足による工事遅延が発生しており、請負業者から工期延長願届が提出される状況である。併せて、資材や材料単価が高騰しており、年末や年度末を控え、困った状況に陥っている。

【自動車分解整備・車体整備業】

僅かずつ好転の兆しが見られる。過去においては、年末は大変忙しい時期であったので、更なる状況の好転が期待される。

【電気工事業】

太陽光設備及び鹿児島市立病院等の大型物件の影響により、仕事は多いが労働者不足の状態が続いているため、人手不足が深刻化している。その影響により官庁の入札物件が不調になっている。

【造園工事業】

年末に向けて個人宅の剪定が増える時期であり、公共の道路の草刈り作業も発注されるため、年末までは多忙な時期となる。

【建設業（鹿児島市）】

建設業に従事する人が年々少なくなり、工事施工の工程を組むことが厳しくなっている。公共工事費の地方への配分が減少傾向にあるようだ。

【建設業（出水市）】

先日、高病原性鳥インフルエンザの感染が鶴で確認された。防疫対策として車両の消毒活動を6カ所で行っていたが、12月4日からは出水市の依頼により、出水市建友会が作業を引き継いでいる。

【貨物自動車運送業】

11月に入り、原油価格の下落で燃料価格はかなり下降気味であった。また、正しい運転・明るい輸送運動が実施され、高速道路における事故防止の徹底及び飲酒運転・危険ドラッグの根絶など、各運送会社は運動を積極的に推進した。

【運輸業（個人タクシー）】

円安・株価上昇などの明るい兆しも見えるが、鹿児島市のタクシー業界としては、アベノミクスの恩恵が待ち遠しい状況である。

【倉庫業】

円安により仕入価格が高騰し、収益減になることが予想される。



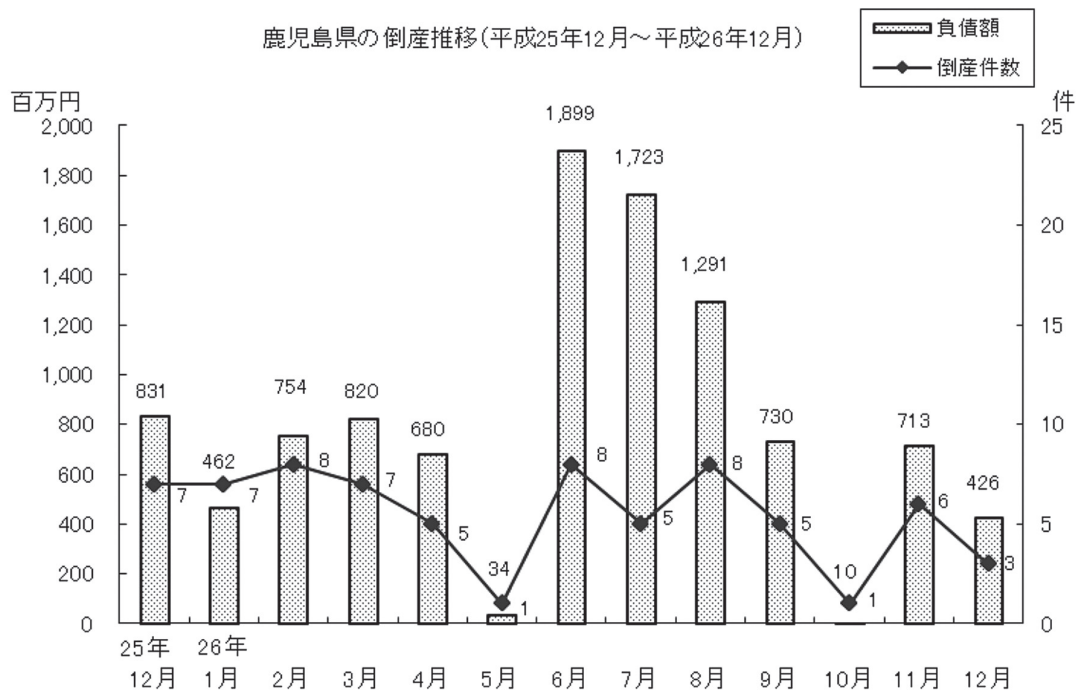
平成26年12月 鹿児島県内企業倒産概況

(負債額1,000万円以上・法的整理のみ)

(株)帝国データバンク 鹿児島支店

件数3件 負債総額4億2,600万円

〔件数〕 前年同月比4件減 〔負債総額〕 前年同月比48.7%減



【概要】

平成26年12月の鹿児島県内の企業倒産(負債額1,000万円以上・法的整理)は、件数で3件(前月比50.0%減、前年同月比57.1%減)、負債総額は4億2,600万円(前月比40.3%減、2億8,700万円減、前年同月比48.7%減、4億5,000万円減)となった。

【各要因別】

- ・業種別では、建設業1件、サービス業2件。
- ・主因別では、販売不振2件、その他1件。
- ・資本金では、100万円～1,000万円未満1件、1,000万円～5,000万円未満2件。
- ・負債額では、1億円～5億円未満3件。
- ・地域別では、鹿児島市2件、南薩地区1件。

【ポイント】

12月度の倒産件数は前月を3件下回る3件であり、負債額も3億円近く下回る結果となった。倒産の態様は3件ともに破産であった。



【今後の見通し】

12月度の倒産件数は前月の6件から3件減の3件となった。倒産に至った3件の内2件は11月以前に事業を停止していた。特に業種的に大きな偏りもなく、平成26年に入ってから動きとして4ヵ月連続して負債額は10億円未満となった。直近4年間の12月度でみると件数、負債額ともに最も低い水準であった。

ただし、今後の見通しとしては12月度の結果を踏まえて、今後倒産件数・負債額ともに沈静化するとの判断は下しがたく、既に12月中に事業停止を余儀なくされ破産準備を進めている企業も複数確認される。再度の消費税による需要の落ち込みが危惧された卸売業や小売業にとっては、増税延長による一時的な安堵感はあるものの、抜本的な改善にまでは至っていない様子も窺え、特に小売業においては積極的な県外資本の参入による格差が拡がりつつある印象も受ける。

年末の資金需要に対応できなかった企業の事業停止なども今後予想されるところであり、今後の倒産動向についても、暫くは動向を見守る必要があり、件数、負債額ともに沈静化に向かうと予想する材料には乏しい。

平成26年12月企業倒産状況（法的整理のみ）

企業名	所在地	業種	負債総額 (百万円)	資本金 (千円)	態様
(有)S	枕崎市	農業資材販売	110	3,000	破産
(株)M	鹿児島市	測量・建設コンサルタント	170	10,000	破産
(株)K	鹿児島市	ソフト受託開発	146	10,000	破産
3件					4億2,600万円

必ずチェック 最低賃金！

鹿児島県最低賃金が時間額678円に！！

使用者も
労働者も

【鹿児島県最低賃金が平成26年10月19日より時間額678円に改正されました。】

鹿児島県最低賃金 (地域別最低賃金)	最低賃金額 時間額	効力発生日
	678円	平成26年10月19日

【鹿児島県の特定(産業別)最低賃金も以下のとおり改正されました。】

特定(産業別)最低賃金 産業名	最低賃金額 時間額(円)	効力発生日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	720円	平成27年1月4日
百貨店、総合スーパー	693円	平成26年12月26日
自動車(新車)小売業	748円	平成26年12月17日

★ 鹿児島県最低賃金は県下のすべての労働者に適用されます。
ただし、特定(産業別)最低賃金の産業に該当する場合は、当該最低賃金も適用されます。

★最低賃金に関するお問い合わせ先★
鹿児島労働局(099-223-8278)・各労働基準監督署
<http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>
 【最低賃金テレホンサービス 099-223-8881】



中央会関連主要行事予定

組合決算講習会

平成27年2月	
3日(火) 14:00	小企業者組織化特別講習会 企業に求められるハラスメント対策 鹿児島市「アクアガーデンホテル福丸」
10日(火) 14:00	創業・起業セミナー 創業者に必須な労務管理と留意点 ～労働基準法等の理解と適正な対応について～ 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」
24日(火) 10:00	組合決算講習会 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」 ※詳細は右記を参照
平成27年3月	
4日(水) 16:45	中央会理事会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」

組合の決算実務について

☆講師 税理士法人鹿児島さくら会計
副所長・税理士 貴見 昌良 氏

☆日時 平成27年2月24日(火)
10:00～16:00(昼食休憩含む)

☆場所 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」

☆参加費 無料

※当日は、「中小企業等協同組合会計基準」を忘れずにお持ち下さい。
購入を希望される方は、事前にお申込み下さい。講習会当日、代金(2,160円)と引き換えにお渡しいたします。

【お問い合わせ】 組織振興課

表紙・本文中で登場する
ぐりぶー・さくらとその子供たちは
鹿児島県のPRキャラクターです♪
©鹿児島県ぐりぶー・さくら # 195



〜 編集後記 〜

二〇一五年がはじまりました。
年末年始はご家族お揃いでゆっくりお過ごしになられましたでしょうか。
私も多くの友人や親戚と会うことができ、心身共にリフレッシュすることができました。
新年を迎えるにあたり、今年の抱負を立てました。
それは、ずばり「女子力アップ」です。
料理に整理整頓に自分磨きに…。充実させたことはたくさんあるのですが、まずは毎朝のお弁当作りから始めようと思います！（せめて週二日は…。）
三日坊主にならないよう頑張ります！
(連携情報課 中山)

美味しい時間を3つのレストランで

1階

カフェレストラン トリアン

2階

日本料理 七彩

13階

スカイラウンジ フェニックス

鹿児島 サンロイヤルホテル

鹿児島市与次郎1丁目8番10号 Tel:099-253-2020

ホテル ⇄ 鹿児島中央駅・天文館
無料シャトルバス運行中!

お役立てください県共済



- ◆火災共済
- ◆自動車事故費用共済（まごころ共済）
- ◆生命傷害共済
- ◆医療総合保障共済・傷害総合保障共済
- ◆自動車総合共済（MAP）



県共済

鹿児島県火災共済協同組合

理事長 小 正 芳 史

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1(産業会館) TEL (099) 225-4218
ホームページ <http://www.synapse.ne.jp/kenkyosai> FAX (099) 227-3595

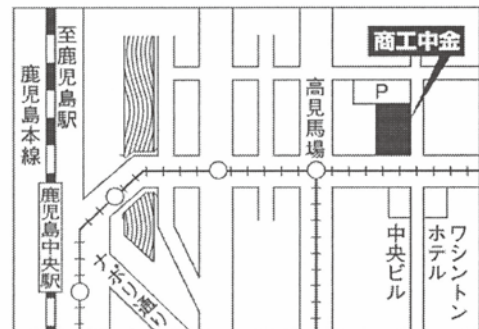
日本の明日へ 中小企業とともに。

話せるパートナー
商工中金です。

新型定期預金

マイハーベスト

- 🌱 有利な金利設定*
※当金庫内の商品と比較した場合
- 🌱 固定金利の半年複利
- 🌱 1年、2年、3年から期間が選べる



鹿児島支店 鹿児島市西千石町 17-24
TEL 099-233-4101

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

取引先の突然の倒産!まさかのときの
資金調達先は準備していますか?

経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

売掛金が回収できなくなった。
資金ショートで連鎖倒産してしまう...



掛金は
損金もしくは
必要経費に
算入できます

1 「取引先の倒産」と「商取引の
事実」の確認で迅速に貸付実行。

回収困難となった売掛金(被害額)
相当の資金を調達できます。
(最高8,000万円まで)

2 当面の資金繰りに
役立ち、自社と社
員を守れます。

自社のリスク
マネジメントの
ひとつとして
お考えください。



経営者ご自身の「現役引退後の生活
資金」のことをお考えですか?

小規模企業共済制度

年金だけでは不十分で、不安がある。
自分で積み増しするには、どんな
ものがあるのかな...



掛金は
全額所得
控除

1 将来、「廃業」「役員退任」
等が生じたときに共済金を
受け取れます。

2 現役引退後の安心した
生活設計が図れます。



控除	⑪	
社会保険料控除	⑫	
小規模企業共済等掛金控除	⑬	360000
生命保険料控除	⑭	

★毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば課税対象所得400万円の方なら、
約11万円の節税になります。(左図は確定申告書の記載例)

●共済制度の詳細内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

共済制度の運営機関



中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人

中小企業基盤整備機構

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室

TEL 050-5541-7171

URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

経営セーフティ共済

検索

小規模企業共済

検索

発行所/鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島市名山町9番1号 〒892-0821

電話(099)222-9258 FAX(099)225-2904

発行人/小正芳史 印刷所/協業組合ユニカラー

電話(099)238-5525 FAX(099)238-5534